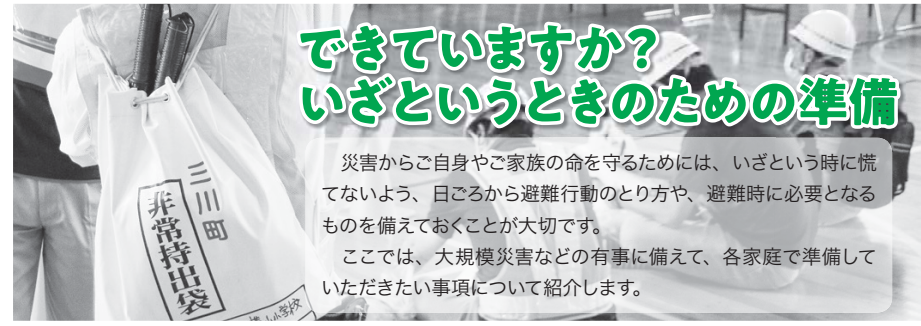


できていますか？ いざというときのための準備



災害からご自身やご家族の命を守るためには、いざという時に慌てないよう、日ごろから避難行動のとり方や、避難時に必要となるものを備えておくことが大切です。
ここでは、大規模災害などの有事に備えて、各家庭で準備していただきたい事項について紹介します。

指定避難所への避難

本町では、災害時の避難所として10カ所の施設を指定しています。
基本的にはお住まいの地区の小学校が避難所となりますが、災害の状況によっては、他の公共施設が指定される場合があります。

避難所を開設する際には、防災行政無線、スマートフォンや携帯電話に配信されるエリアメール、町ホームページ等でお知らせしますので、町からの情報を正確に受け取り、行動してください。

「防災行政無線が聞こえない」その時に

大雨などの際は、防災行政無線が聞こえない（聞き取れない）ことが考えられます。そのようなときは、☎68-0120に電話をかけることで、最新の放送内容から順に、過去の放送を聞くことができます。聞いたことが無い方は、災害時に備え、試しにいつでもおかけください。

防災行政無線が聞こえない時は
☎0235-68-0120
防災行政無線の内容を確認できます。
※最新の内容から順に流れます。(時限の音楽を含む)
※試しに、いつでもおかけください。

避難所に行けばもう安心？

本町では、避難所用の備蓄品として、毛布、簡易テント、段ボールベッド、簡易トイレなどを備蓄しています。
しかし、備蓄品には数に限りがあり、避難者の人数によっては、全員に行き渡らないことが予想されます。また、町では飲料や食料の備蓄は行っていません。災害発生時は、支援協定に基づき、民間企業から提供を受けることとしています。国や県などに支援を要請することも考えられますが、物資が届くまでには時間がかかることも考えられます。

そのため、避難所を開設して間もない時期においては、住民の皆さまが、家庭内で備蓄していた食料品などを、ご自身で持参していただく必要があります。

本町の指定避難所一覧

施設名称
横山・東郷・押切小学校
三川中学校
三川町民体育館、アスレシアの花
三川町社会福祉センター
みかわ保育園・幼稚園
なの花ホール
テオトル

食料・飲料を備蓄しましょう

食料の備蓄は、最低3日分、できれば1週間分備蓄しておくことが望ましいです。それは、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間は食品が手に入らないことが想定されるからです。

ローリングストックの習慣を！
ローリングストック（循環備蓄）とは、左の図のように、備蓄用の食品を賞味期限の古い物から消費し、消費した分を買って足すことを繰り返す方法です。慣れない非常時に、日ごろから食べ慣れた食品を食べることは、不安の軽減にもつながります。ぜひローリングストックを実践してみてください。



災害がおきたらまずは「自助」

活用していますか？ 防災ガイドブック
これまで、全国各地の災害では、「自助（自分でできることは自分で）」、「共助（自分でできないことは地域で協力し合っ）」、「公助（地域でできないことは行政が）」のうち、「自助」の意識が低いところほど、被害が大きくなってしまいう傾向にあることが報告されています。

昨年度、町では「三川町防災ガイドブック」を作成し、全戸に配布しました。このガイドブックは、災害対応の基本である「自助」について、意識を高めていただくため、自分と家族の命を守るための災害への備えと、災害が発生する前に取るべき行動などについて、紹介しています。ぜひ活用してください。



○問合せ先 役場総務課 危機管理係
☎35-7010

災害時の安否情報がやりとりできるサービス「災害用伝言ダイヤル」

災害用伝言ダイヤル「171」は、災害発生時、被災地への電話がつながりにくくなった場合に提供が開始される声の伝言板です。家族、知人などの安否を電話で確認することができます。もしもの時に備え、ご利用方法を覚えておいてください。

171 自宅や外出先から、電話で「171」をダイヤル

■伝言の録音方法

171 をダイヤルする
↓ガイダンスが流れます
録音の場合①をダイヤルする 再生の場合②をダイヤルする
↓ガイダンスが流れます
連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号または携帯電話等の番号をダイヤルする
0 — [] — []
↓ガイダンスが流れます
伝言の録音をする (30秒以内) 伝言の録音内容を確認する

■伝言の再生方法

■使い方のポイント
①電話番号：家族でどの番号か決めておく ②録音内容：下記の「あいたいよ」を参考に録音する

覚えておいて！
171でお伝えすること：
「あいたいよ」

あ あなたの名前は？（フルネームを伝えて！）
い いまいる場所は？（具体的な場所を伝えて！）
た だれといっしょか？（一緒に避難している方も伝えて！）
い いたいところはあるか？（ケガや体調について伝えて！）
よ よこく（次の連絡はいつか、次回の予定を伝えて！）

※毎月1日・15日、正月三日、防災とボランティア週間(1月15日～21日)などに体験利用ができます。